

Vision

基本方針

明日の 銀座を創る ランドマーク。

伝統や品格を大切にする街、銀座。
本物の良さを理解し、
自分らしい価値を求める世界中の
お客様が集まる銀座は
常に新しい時代の呼吸を取り込み、
発展してきました。
本施設は、銀座の中心に位置すると同時に
これからの街の発展に寄与する
ランドマークとなることを目指します。
銀座らしいプレミアムな価値観の
フィルターをもって、日本はもちろん
世界の新しい未来を吸収し
それらを編集した発信と、様々な体験を
通した交流の拠点として
新しい価値を提供し続けていくことで、
銀座の街づくりに貢献していきます。

当物件の募集状況に関するお問い合わせはこちら
<https://www.take-office.co.jp/contact/>



Outline

計画概要

銀座四丁目交差点で、
新たなランドマークとなる複合商業施設。

銀座の中心にあり、日本を代表する場所としても知られる“銀座四丁目交差点”。
1970年からこの交差点の風景のひとつとして親しまれてきた「サッポロ銀座ビル」の跡地に、
新たな発信・交流の拠点となる複合商業施設が誕生します。
地区計画の高さ制限の変更により、元のサッポロ銀座ビルより約15mも高くなり、
延床面積も大幅に増加。銀座四丁目交差点の新たな顔として生まれ変わります。

>> 計画概要

事業主 サッポロ不動産開発株式会社
株式会社つゞれ屋
計画地 東京都中央区銀座五丁目1番1ほか
敷地面積 約645㎡

>> 複合商業施設の概要

施設名 未定
構造 鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
規模 地上11階、地下2階、塔屋1階
(※建築確認申請上は、地上12階)
延べ面積 約7,382㎡
建物高さ 約61m(屋上工作物含む)
主要用途 展示場、物販店舗、飲食店舗等
設計者 大成建設株式会社一級建築士事務所
外観デザイン クライン・ダイサム・アーキテクツ
施工者 大成建設株式会社
CM・監理 株式会社久米設計
竣工 2016年(平成28年)5月(予定)



Location

ロケーション

世界へ向けて開かれた、
銀座・日本を代表する
ロケーション。

本施設の大きな魅力のひとつが、
ロケーションの良さ。国内外から多くの
お客様が訪れる世界有数の商業エリアの
中心であり、銀座を象徴する場所でもある
銀座四丁目交差点の南側角という好立地です。
また今後、東京では世界的なスポーツイベントや
国際会議などが計画されており、
ますます多くの人々が訪れると予想されています。
この街の起点として、世界中へ発信する
拠点として、さらなる発展が期待されている
エリアでもあるのです。

THE CENTER
OF
GINZA



Access

アクセス

複数の主要駅から徒歩圏内。
 発信&交流拠点にふさわしい交通利便性。

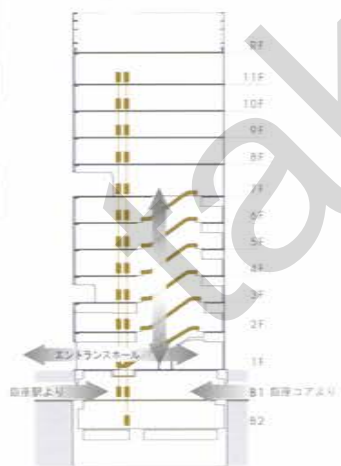
ショッピングやビジネスなど、
 毎日多くの人々でにぎわう銀座四丁目交差点付近。
 複数の駅が徒歩圏内にあるなど
 交通アクセスは非常に良く、
 築地や新橋などへも歩いて出かけられます。
 東京駅からも近いため、
 新幹線などを利用するにも便利な立地です。



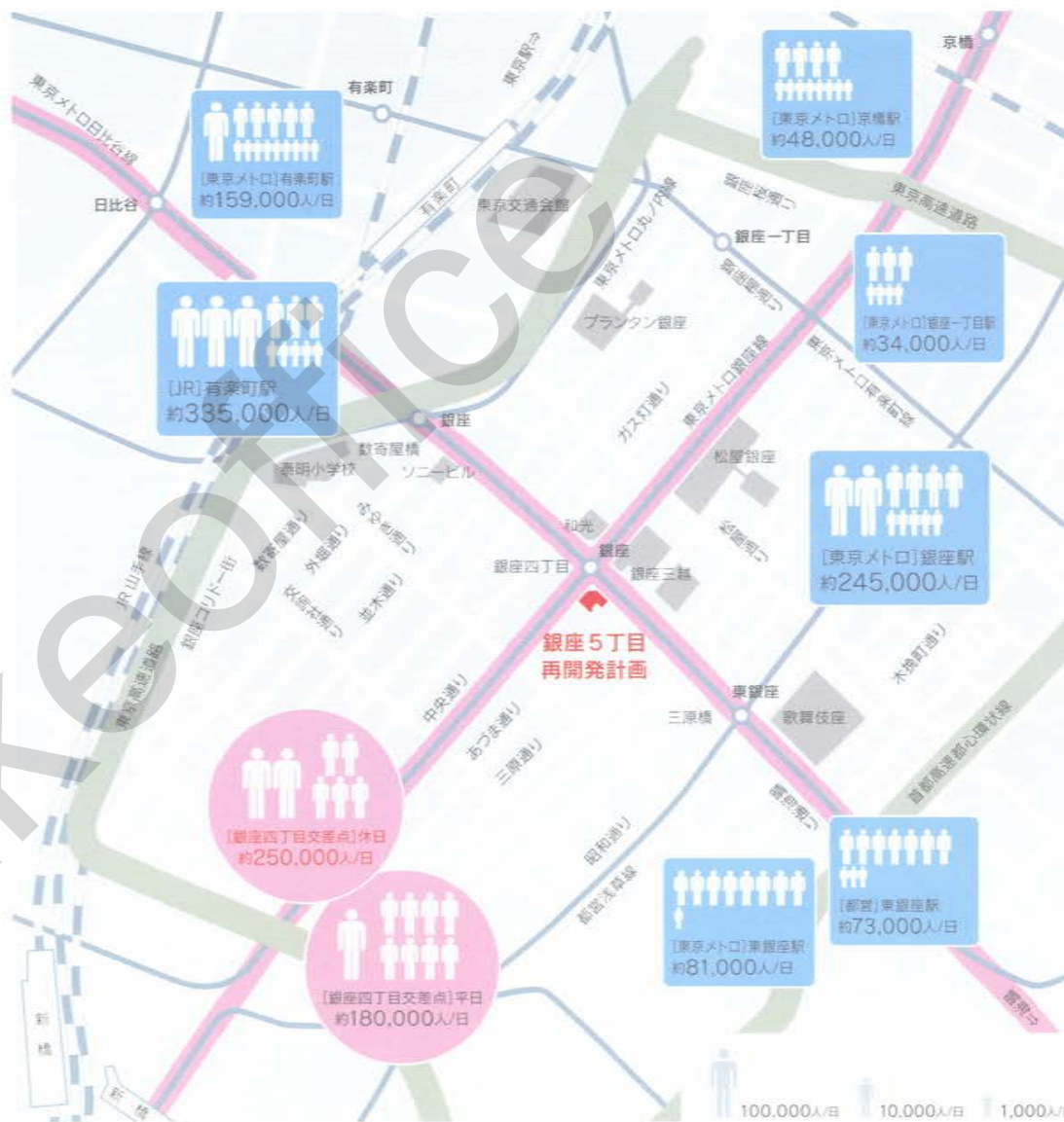
東京メトロ「銀座駅」直結

>>B1・1Fのアクセス

地下1階は東京メトロ銀座駅と直結。1階は、銀座四丁目交差点に面した角地にメインエントランスをつくり、晴海通り側にサブエントランスを配置します。



>> 銀座周辺の主要駅および乗降客数 / 中央通り・晴海通り通行量



※2013年度一日平均乗降客数実績(東京メトロ、JR、東日本、都営交通ホームページ)をもとに作成。
 銀座歩行量データ(株式会社フェイス・コム)より <http://www.facecom.co.jp/> をもとに当社にて推計。

Façade Design 外観デザイン

伝統工芸の持つ美しさから発想し、現代的な表現へと昇華させる。
建築デザインもアートと捉え、愛されるランドマークを目指します。

東京では、商業施設の建築も単にガラスで覆われたオフィスビルのような
建物に置き換わっていく傾向にある中で、本施設では明日の銀座の愛される
ランドマークとなるべく、建築デザインにも特別な想いを込めました。

デザイナー・アーキテクトとして、世界を知り、日本を愛する
クライン ダイサム アーキテクトズを起用。

「FRETWORK (透かし彫り)」をモチーフに、伝統工芸が持つ

柔らかさ・優しさのある美しい表情を持たせつつ、

上昇感・高揚感を表現するエレガントで個性のあるデザインを考案。

銀座のランドマークにふさわしい建築を目指します。

銀座の中心に立ち上がるのは、彫刻のような美しさをもった佇まいを持ち、

銀座の街並みへの親和性と、未来を感じさせる先進性が調和するデザインです。

クライン ダイサム アーキテクトズ (KDa)

建築、インテリア、インスタレーションといった複数の分野のデザインを手掛けるマルチリンガルオフィス。アストリッド・クラインとマーク・ダイサムにより、1991年に東京に設立。国際的評価も高く、受賞歴も多数。東京を拠点に活動し、その斬新なアイデアと作品は、日本特有の新しいものに対する渴望や、ものづくりにおける素材とディテールに対する高い感性、そして絶えず変化する都市の生活環境に影響を受けながら形成されています。東洋と西洋のそれぞれ優れたところを取り入れることにより、新鮮な視点で独特のプロジェクトを創造し続けています。



Façade Design 外観デザイン

>> 施設外観



MD Concept

MDコンセプト

本物を知る人たちへ、未来の豊かさを届ける。
「ネクストプレミアム」を提供し、人々の交流をつくります。

伝統を大切にしながら、常に新しいものも取り込む。
本物を知るプレミアムな価値観を街のフィルターとして、銀座らしい街の品格は育まれてきました。より本質的なものを重視していくプレミアムな価値観は、未来の豊かさを考える上で大切なものであると捉え、
これからのプレミアムな価値観＝ネクストプレミアムを提供していくことを本施設の開発のテーマとしました。メインターゲットとなるのは、これからの時代をけん引していく、現代的でグローバルな感覚と自分なりのスタイルをもつ30代～40代を中心とした人々。そして、世界各国からお越しになられる海外からのお客様たち。ここでしか体験することのできない新しいコンテンツやライフスタイルを編集・発信し、本質的な豊かさととの出会いや発見を演出するとともに、本施設を訪れる人と人との多彩な交流を生み出していく拠点となることを目指します。

私たちの考えるこれからのプレミアムな価値観 = ネクストプレミアム

- 表面的な豪華さに惑わされず、自分にとって価値のある本質・本物を見極める審美眼とこだわり。
- 社会との繋がりを大切に、人との交流を通して、自分らしさを発見しながら、世の中を良い方向へ導こうとするソーシャル意識。
- 歴史に紐づく伝統と、発展していくデジタルな最先端技術、どちらへもリスペクトを失わないバランス感覚。



Floor Plan

フロアプラン

目的性の高いお客様が集う上層階の Exclusive Floor と さまざまな体験 & 交流の場となる中・低層階の Open Floor。

本施設は、大きく2つのフロアに構成されます。

8階から11階の上層階は“Exclusive Floor”として、独自の世界観を持ったラウンジやサロン空間でお客様をお迎えする、目的性の高い交流の拠点を目指しています。地下および1階から6階の中・低層階“Open Floor”は、よりアクティブにネクストプレミアムのモノ・コトを発信し、様々な体験を通じた交流を生み出す複合編集ゾーン展開を想定。各フロアごとに変化に富む、多様なネクストプレミアムを体験してもらう、銀座の街を訪れる多くのお客様に、発見と出会いを演出する開かれた交流の場を提供したいと考えています。

8/9/10/11F Exclusive Floor

目的性の高い銀座のお客様に対して、商品・サービスを提供するフロアとして、各フロア毎に、独自のラウンジ等のエクスクルーシブな展開を可能とする空間構成を準備しています。最上階の11階では、パンケット等の食に関わる計画が可能な構成となっています。

7F Terrace Restaurant

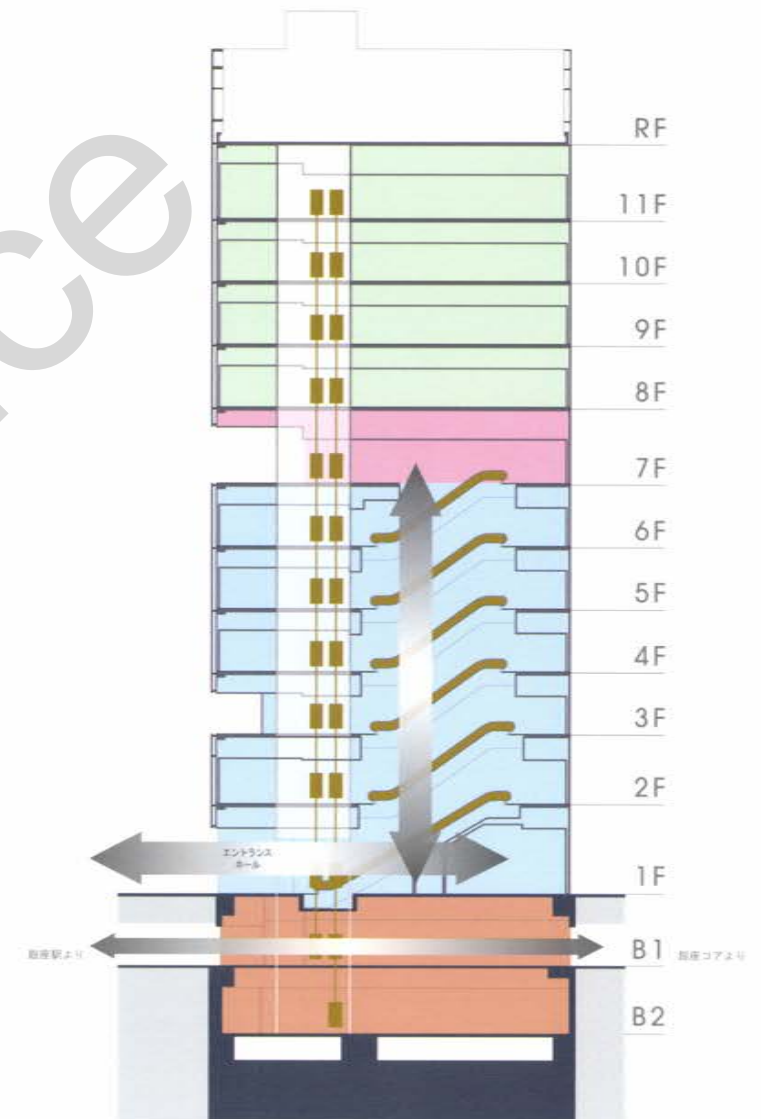
銀座四丁目交差点を望む絶好のロケーションの7階は、屋外のテラスも配置し、街の特等席となるテラスレストランの計画が可能です。

1F~6F Showcase & Event Complex

ショールーム・ショップ・サービス等を複合的に編集する、モノ・コト体験型の発信・交流フロア展開を想定。3階は、常に最先端のモノ・コトに出会える、カフェ併設のイベントプロモーションフロアを計画。

B1/B2 Restaurant

計画地における歴史を未来へ向けて昇華する、新しいブラッセリー・ビヤホール等を計画。



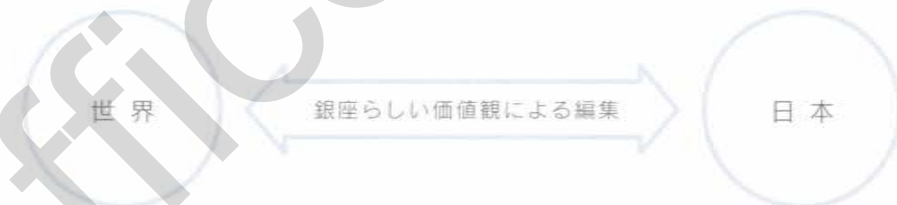
Open Floor Concept オープンフロアコンセプト1F~6F

日本全国、そして世界をつなぐ。
未来の豊かさの発信と交流の拠点として。

未来の豊かさを体感できるモノ・コト・情報の発信&交流スペースとしての1階～6階のオープンフロア。多様なコンテンツを用意し、提供することで、地域や国境を越えて、たくさんの人々をつなぎます。



>> オープンフロアの特徴



1. グローバルな銀座の審美眼を通した、ネクストプレミアムの提案。
2. 日本全国・世界をつなぐ受発信拠点としての滞留空間と交流機能。
3. 技術や文化、感性をもとに編集されたサプライズのある体験の提供。
4. リアルとバーチャルが連動した複合的なサービスの提供。
5. 世界中のお客様を迎える多言語対応。

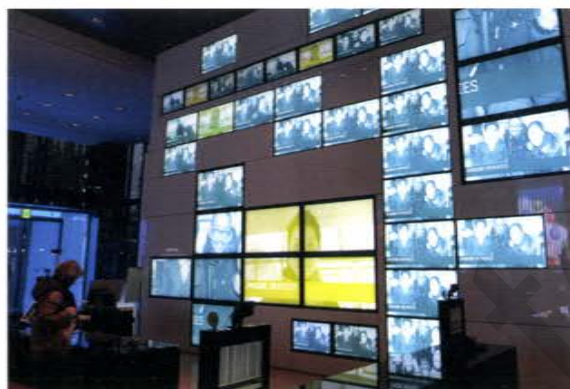


Open Floor Contents オープンフロアコンテンツ 4F~6F

未来と出会う、新しい自分を発見する、
自分らしさを探求する体験を。

Creativity、Discovery、Style の3つのテーマを設定し展開する
オープンフロアのコンテンツ。
たとえば、最先端のテクノロジーをリアルな場で体感し、
クリエイティブな未来の生活に出会えたり、
新しい旅のスタイルや、写真、映像などに触れる場を提供することで、
新しい自分の興味や関心を発見するきっかけを与えたり。
食・美・健康などの体験イベントなどを用意し、より自分らしい豊かな
ライフスタイルのあり方を提案していく空間をつくることも可能です。

Creativity



Discovery



Style



Floor Plan フロア平面図 4F～6F

4/5F



6F

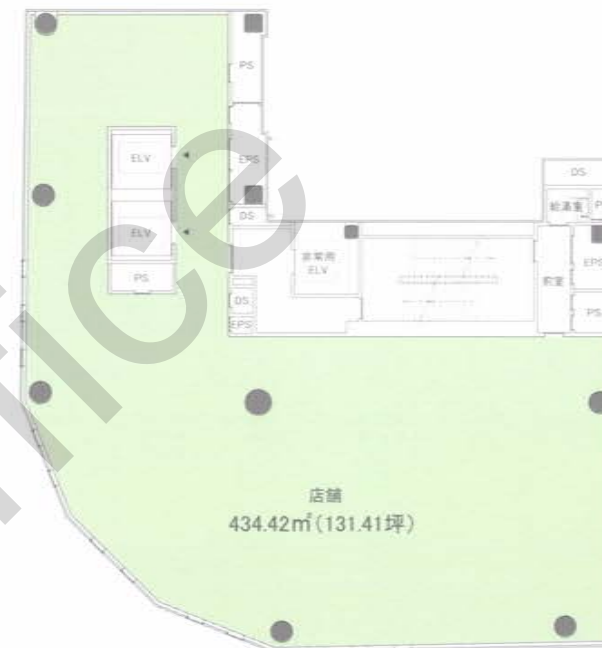


Exclusive Floor

エクスクルーシブフロア 8F～11F

目的性の高いお客様に 上質な商品・サービスを提供するスペース。

銀座の中心から、銀座四丁目交差点と都心を望むことができる上層階フロア。
ネクストプレミアムな価値観の中でも目的性の高い銀座のお客様に対して、
上質な商品やサービスを提供する展開を可能とするフロアです。
各フロアは、エレベーターの扉が開いた瞬間から独自のエクスクルーシブな
ラウンジやサロン等の空間・環境により、お客様に特別な
お出迎え感を演出することが可能です。(約130坪／フロア)
また、最上階の11階では、パンケット等の食に関わる空間づくり、展開が可能です。



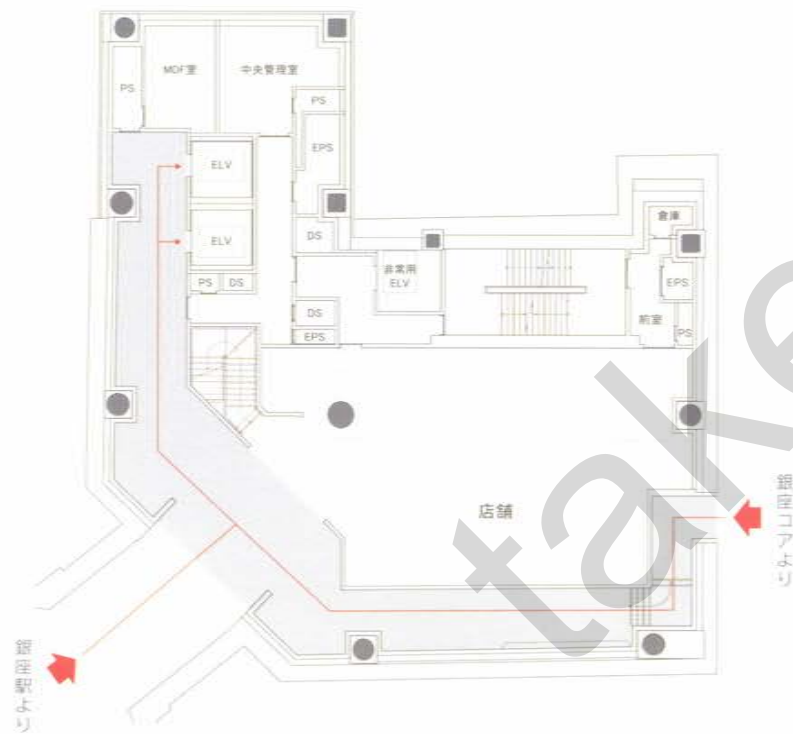
>> 展開イメージ



B1 Entrance

B1 エントランス

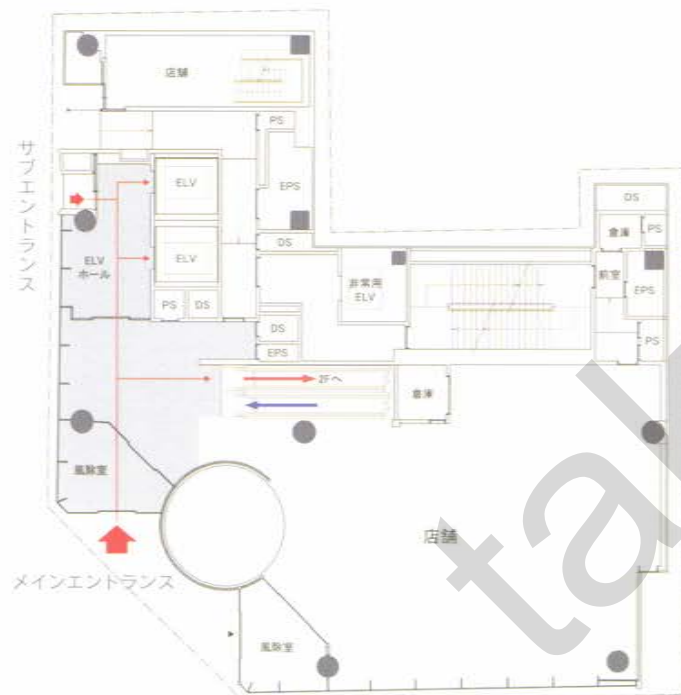
B1



1 F Entrance

1F エントランス

1F



1F Entrance

1F エントランス

1F



当物件の募集状況についてのお問い合わせは[こちら](#)まで

takeoffice

テイクオフィス株式会社

東京都中央区築地 1-9-12

TEL:03-6278-7711

URL:<https://www.take-office.co.jp/>